

担当地域事務局名	
担当地域事務局受付日	

Eco-CRIP 補助事業 担当地域事務局 担当者殿

令和 2 年度 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金
(中小事業者による排出量算定・排出量削減のための環境経営体制構築支援事業)
Eco-CRIP 補助事業 参加申込書

1. 希望する支援

- 初歩的な環境経営体制構築のための取組に対する支援 (5 回支援、支援パターン A5) ☐
- より高度な環境経営体制構築のための取組に対する支援 (5 回支援、支援パターン B5) ☐
- より高度な環境経営体制構築のための取組に対する支援 (3 回支援、支援パターン B3) ☐

2. 申告項目

		はい	いいえ
①	過去に第三者認証の環境マネジメントシステムの認証を取得したことがある、あるいは、現在、その認証を取得している。	☐	☐
②	2019 年度以前、Eco-CRIP 補助事業あるいは実証事業に参加したことがある。	☐	☐
③	自社以外の事業者等と事務所やサイトを共有している、又は、自宅と事務所等を共有している等によって、電力、燃料、その他エネルギー使用量を何らかの形で按分している。	☐	☐
④	2019 年 6 月 1 日以降、2020 年 12 月 31 日までの間に、事務所の移転、生産設備等の増強・縮小等、事業環境に大きな変化を及ぼす変更があった、あるいは、その計画がある。	☐	☐
⑤	取組期間及びその前年同期間の、電気、燃料等の購入量及び購入費等、CO ₂ 排出量を算定するために必要なデータ及び経費、ならびに売上高や生産量等の事業活動に密接に関連する指標を、支援相談人及び担当地域事務局に対して開示あるいは提供できる。	☐	☐

3. 参加事業者が支援に関する業務費の支払、及び、補填を受けた後に業務費の返還義務を負う場合

- (ア) 規定回数の戸別訪問支援の途中で Eco-CRIP 補助事業の取組を中止した場合
- (イ) 参加事業者の責に帰する事由により、所定の期日までに CO₂ 排出量の算定結果を報告できなかった場合
- (ウ) 参加事業者の責に帰する事由により、所定の期日までに支援後アンケートを提出できなかった場合
- (エ) 担当地域事務局に提出する書類、報告等に虚偽の内容、事実と異なる内容等を記載した場合、又は、不正を行った場合
- (オ) 支援パターン B5 又は B3 による支援を受け、環境マネジメントシステムの第三者認証登録審査を所定の期日までに申し込んだにもかかわらず、その後、所定の期日までにその登録審査を受審しなかった場合
- (カ) 参加要件を満たさないことが発覚した場合
- (キ) その他、参加事業者の責に帰する事由によって、支援が補助対象から除外された場合

弊社は、応募要項、交付規程及び本申込書「3. 参加事業者が支援に関する業務費の支払、及び、補填を受けた後に業務費の返還義務を負う場合」を理解した上で、令和 2 年度 Eco-CRIP 補助事業への参加を申し込みます。

年 月 日
 申込事業者 住所
 事業者名
 代表役職及び氏名

